

拝啓 残暑の中にも涼しさを感じられるようになった今日この頃、委員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の「川崎市バス事業経営問題検討会」での議論におかれましては、日々の市民生活を支える重要な地域の足である路線バス事業の継続的なサービス水準の維持・向上に格段のご配慮をいただき、ありがとうございます。また、その会期中のお忙しいところにもかかわらず、当会より差し上げた提案書

市バスと市政が連携し、持続可能な地域交通の利用推進を！  
— 市バスの経営戦略と川崎市の交通政策に関する提案書 —

についてご検討いただいたことにも、感謝申し上げます次第です。

昨今、公害や気候変動など一層深刻化する環境問題はもとより、繰り返される悲惨な交通事故、燃油の市場価格の上昇、さらには高齢化による交通弱者の拡大も見込まれる中、これまでの「クルマ社会」は世界的に行き詰まりを見せており、持続可能な市民生活を考える際に公共交通の位置付けはますます重要になっていると感じております。事実、当会はもとより、日頃より市内で活動されている様々な立場の方々が、路線バスをはじめとする今後の交通政策に関心を高めているところです。貴会でもご議論いただいたように、自治体、事業者、および市民が、地域の交通体系について検討を重ね、総合的な交通政策を取りまとめることの必要を感じております。

また、先の委員のご発言にもあったように、川崎市内では今でも路線バスが高度に利用されており、その需要を各事業者がうまく分担していると考えておりますが、本日の答申は、川崎市交通局をはじめとする各事業者が協働し、今後ますます高水準の路線バス・サービスを提供し続けていただく、そのきっかけになるものと期待しているところです。

今後は、この答申を受けての市の取り組みが期待されますが、まずはそのきっかけをつくってくださった委員の皆様方に御礼を申し上げます次第です。ありがとうございます。

敬具

平成20年 8月26日 持続可能な地域交通を考える会  
会員一同

持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)

<http://sltc.jp/>

担当：井坂 < isaka@sltc.jp >

Webからのご連絡→<http://sltc.jp/query>

FAX: 020-4664-6084